



風鈴の音色に

校長 小久江 桂子

「ちりん、ちりん…」梅雨空の合間に吹く涼やかな風が、校長室の入り口に吊るした風鈴を優しく鳴らしています。子供たちは通りすがりに足を止め、「ちりん、ちりん…」と鳴る音に、涼しさを感じているようです。この風鈴は、本校の職員が校長室にと、プレゼントしてくれたものです。その澄んだ音色に、ふと心が和らぐ瞬間があります。日本の夏を告げる風鈴の音は、私たちに「涼しさ」だけでなく、「静けさ」や「やすらぎ」も届けてくれているように感じます。

風鈴の音は、ただ「耳で聞く」だけでなく、「心で感じる」ものだと、私は思います。暑い中でも、この音を聞くと少しほっこりしたり、気持ちが落ち着いたりします。まさに五感の中の聴覚を育てる経験です。



校庭に目を移すと、子供たちが育てているヘチマのつるがぐんぐん伸びています。やがて緑のカーテンとなって、教室に心地よい日陰をつくってくれることと思います。水やりをしている子供たちの表情はとてもいきいきしていて、植物の成長を目で見て、葉の感触にふれ、土のにおいや風の音を感じながら、まさに五感を通して自然と向き合っている様子が伝わってきます。こうした小さな感動体験の積み重ねが、子供たちの感性や思いやりの心を育てていきます。

近年、子供たちの生活が便利になる一方で、自然に触れたり、身体全体で季節を感じたりする機会が減ってきたようにも思います。だからこそ、学校でのこうした体験は、感性を育て、心を豊かにする大切な時間だと私は考えています。

緑のカーテンは、見た目に涼しさを届けてくれるだけでなく、教室の温度を下げたり、環境問題について学ぶきっかけにもなったりします。葉の陰で涼を感じながら、子供たちが「自然と共に生きることの心地よさ」を実感してくれると嬉しいです。

一方で、強い日差しと気温の上昇には注意が必要です。今年も猛暑が予想されていますので、熱中症対策として、学校では以下のことに取り組んでいます。

- ・ 教室や体育館のエアコン使用による室温管理
- ・ 熱中症警戒アラート及び暑さ指数(WBGT)の活用
- ・ こまめな水分補給の声かけ
- ・ 登下校時の安全帽子の着用



また、朝食をしっかりとることや、早寝・早起きの習慣づくりが、熱中症予防につながります。ご家庭でも御協力いただきますよう、お願いいたします。

学校でも、五感を育てながら、子供たちが元気に、そして安全に夏を過ごせるよう、引き続き指導してまいります。風鈴の音色に耳を傾けながら、子供たち一人一人が自分らしく輝ける夏になりますように☆



今年度も八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)